

令和5年大綱白里市議会 第2回定例会 市長事務方針

5月31日から6月20日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日に市長から、事務報告が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン接種は、国の特例臨時接種が1年間延長されたことから、当面はこれまでと同様に実施する方向であり、「春夏追加接種分」として、5月8日から市内クリニックや大綱病院などを会場に、高齢者など重症化リスクの高い方や医療従事者などへの接種を開始し、現時点で2,900人の方が接種を完了しています。今後も、感染症への対応について、国・県の動向を注視しながら、広報紙や市ホームページなどを通じて情報提供を行います。

公有財産関係

市の玄関口であるJR大綱駅前広場は、歩道部分の一部について、金谷郷のJR東日本大綱保線技術センター隣接の市有地との等価交換の要望がありました。市では、この交換に際する方向で検討を進めているところです。本年3月に不動産鑑定評価により土地の価格を算出し、双方の交換面積についての見通しが立っており、今後、東日本旅客鉄道株式会社との間で必要な事務手続きを進めます。

財政関係

令和4年度の会計は、現在、決算を調整中ですが、物価高騰対策として実施した「元氣回復クーポン券」や、子育て世帯や低所得世帯への各種支援策などにより、一般会計における決算規模は歳出ベースで168億円程度となる見込みです。歳入面では、地方交付税をはじめとする一般財源が十分に確保できたことなどにより、実質収支は8億円程度の黒字となる見込みです。この決算見込みの結果、公債費のピークに伴う市財政の危機的な状況は回避できたものと考えていますが、依然と

防災関係

令和5年度の防災訓練の一環として、5月17日に市内最大震度6強を想定した「職員災害初動対応訓練」を実施しました。本訓練では、災害発生時に必要となる対応の確認を行ったところです。本年度は、土砂災害避難訓練、総合防災訓練、津波避難訓練を予定しており、現在、各訓練の検討を進めており、本市の防災力のさらなる向上が図れるよう、引き続き、災害種別ごとのより実践的で効果的な訓練に努め、自助・共助・公助が連携した災害に強いまちづくりを進めていきます。

庁舎整備関係

第1期工事に係る一般競争入札を実施し、2億4,635万4,394円で落札したことから、工事請負に係る仮契約を締結しました。これに伴い、契約の締結に関する議案を提出し、承認が得られ次第、本契約を締結したいと考えています。工事は、本契約後、1か月程度の準備期間を経た上で8月上旬の着手を予定しています。

高齢者福祉

内保育施設および幼稚園に絵本が順次寄贈される予定です。チャイルドシートは、子育て世帯への支援として市役所にて無料で貸し出しを行っており、お子さんの送迎、お孫さんのお出かけなど、幅広くご利用いただきたいと考えています。また、出産・子育て応援給付金は、現時点で、支給対象者534人のうち、504人の方に對し、総額2,520万円の支給を完了しています。このほか児童扶養手当を受給している世帯などを対象に、児童1人につき5万円の給付金を、申請不要のプッシュ型にて支給しました。すべての妊婦・子育て世帯が安心して、出産・子育てができる環境の整備に取り組みます。

社会福祉

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が依然として続く中、住民税非課税世帯等の低所得世帯に対する支援策として、1世帯当たり3万円の給付金を支給する補正予算案を提案しました。すべての対象世帯に速やかに給付金が行き渡るよう、広報紙や市ホームページを活用して周知します。

子育て支援

第一生命保険(株)との間で、「子育て支援に関する連携協定」を締結しました。この協定により、市にチャイルドシート5台が寄贈されたほか、市

8月は子ども医療費助成受給券の更新月です

子ども医療費助成制度の対象となっている家庭には、8月以降有効となる受給券を7月下旬に普通郵便で郵送を予定しています。今年度から新たに窓口にて発行する期間を設けましたので、来庁した時に発行することも可能です。受給券が届かない場合は、所得の申告をしていない等の理由が考えられますので、問い合わせください。▶手渡し期間=7月3日(月)~18日(火) 〇子育て支援課児童家庭班 ☎0475(70)0331

公共交通

白里地区コミュニティバス「はまバス」は、本年9月末をもって運行事業者との委託契約期間が終了することから、地域公共交通活性化協議会にて、10月以降の運行方針について検討した結果、利用状況の検証や利用者アンケートなどを総合的に勘案した中で、今後も増加が見込まれる高齢者等の移動手段として、路線バスを補完するコミュニティバスは必要との結論に至りました。円滑な運行に向け、事業者選定などの手続きを進めます。

観光関係

本年は、7月7日から8月27日までの52日間海水浴場を開設する予定です。期間中は、夏期観光安全対策本部を設置し、関係機関や諸団体と協力の上、来遊客の安全対策に取り組みます。また、本市の一大イベントである「おおあみしらすとの花火」も、7月29日の開催が決定しました。4年ぶりとなる花火大会に加え、市制施行10周年、千葉県誕生150周年を記念するイベントとして、白里海岸のライトアップも予定しています。内容がまとまり次第、広報紙や市ホームページにてPRに努めます。

環境問題への取り組み

東金市外三市町清掃組合が進めている、「新ごみ処理施設整備事業」は、近年の急激な物価高騰により事業費が大幅に増加する見込みのため、事業の一時中断を決定した旨報告がありました。ごみ処理施設は将来の市民生活にも直結する案件であるため、清掃組合に対し、早期の事業再開に向け適切に対応するよう求めます。また、5月28日に実施したゴミゼロ運動では、市内の各区、自治会など、106団体、約6,200人のご協力をいただき、約4.6トンのごみを回収しました。このほか、「土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災

白里地域の交流拠点施設整備

検討を進めるに当たり、まずは白里海岸を訪れる方々のニーズを把握するため、GW期間中の2日間、白里海岸駐車場に来訪者を対象としたア



▲ゴミゼロ運動の様子

「再生土の埋立て等規制条例」と併せて規制を行うことにより、さらなる市民生活の安全の確保と市民の生活環境の保全を図ります。1月1日の元旦祭を皮切りにスタートした市制施行10周年記念事業では、これまでに、記念式典の挙行、公共下水道の10周年記念マンホール設置などの各事業を行いました。また、GW期間中には、「こどもの日」にちなみ、市役所庁舎に鯉のぼりを掲揚し、多くの方からご好評をいただきました。

市制施行10周年記念事業

低所得世帯支援給付金

エネルギー・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、低所得世帯支援給付金(1世帯あたり3万円)を給付します。
①住民税非課税世帯への給付
▶給付対象=令和5年6月1日(基準日)において、本市に住民票があり、同一の世帯に属する方の全員が、令和5年度分の住民税均等割非課税である世帯(ただし、住民税均等割が課されている方の扶養親族等のみで構成される世帯は対象外)
※「住民税均等割が非課税である方」には、生活保護を受給している方も含まれます。
▶給付方法=令和5年7月中旬以降、市から対象世帯の世帯主宛に確認書を送付しますので、必要事項を記入の上、返信用封筒で返送してください。
②家計急変世帯への給付
▶給付対象=①に該当しない世帯のうち、令和5年1月以降の収入が予期せず減少し家計が急変した世帯。(全世界帯員が令和5年度分の住民税均等割非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯)
ただし、以下に該当する世帯を除きます。
・住民税非課税世帯として3万円の給付を受けた世帯
・住民税均等割が課されている方の扶養親族等のみで構成される世帯
▶給付方法=申請が必要となります。対象となる可能性がある場合は問い合わせください。
▶申請受付期間=7月18日(火)~9月29日(金)
〈共通事項〉
住民税非課税世帯への給付金と家計急変世帯への給付金は、重複しての受給はできません。
☎・〇 社会福祉課社会福祉班 ☎0475(70)0348